



肉も野菜も  
地元産がズラリ

地産地消

# バーベキュー

## 「体験」によってわかること

農業は、楽しくやりがいのある仕事です。でも、そればかりではありません。ときには病虫害などで、うまく育たないこともあります。野菜がお店に並ぶまでにどんな経緯があるのか……。そんな作り手の苦労や思いを学べるのは体験してこそ。身近な食への興味をもってもらえればと思っています。



JA北群渋川  
青年部 部長  
栗田和巳さん



青年部員たちが協力し、裏方としても大活躍！

## 人と人の温かいつながりを

今年で12回目を迎えた「あぐりキッズスクール」は、子どもと保護者を対象とし、身近な食べものへの理解を深め、農業に親んでもらうことを目的として開催しています。近年、このスクールにはお父さん方の参加も目立つようになり、野菜を育てるなかでの発見や楽しさを親子で共有していただけていると感じています。JA共済連からのご支援もあり、今年も畑での体験はもちろん、バーベキューも盛り上がりました。この活動により、地域の人と人の温かいつながりがより広がればと思っています。



JA北群渋川  
福祉部 部長  
石倉千恵子さん



子どもたち一人ひとりとふれあう石倉さん



畑の体験、楽しいよ！



植えつけ作業のあとは、バーベキュー大会。炭火で焼くと、肉も野菜もおいしさアップ！

スイカも甘くておいしい

## 食と農を学んで深まる絆

# 親子参加の食育活動

きた ぐん しぶ かわ  
JA北群渋川の「あぐりキッズスクール」を支援  
～ JA共済連 群馬県本部 ～

JA共済連はJAとともに、組合員・地域住民のみなさまが安心して暮らせる地域社会を目指し、地域貢献活動に取り組んでいます。今回は12月号から4回にわたり、各都道府県本部が地域の特性を活かして取り組む独自の地域貢献活動をご紹介します企画の第2弾です。

今日は苗を植えます



ブロッコリーとキャベツの

# 定植体験



苗って小さい！



枯れないで育ちますように……

指を土にさして、苗の植え穴をつくります



小さいから倒れないように

土を押さえて、苗の根と密着させます



元気に育っておいしくな～れ

小さな手で野菜の苗をていねいに植えつける子どもたち。その表情は真剣そのもの！

親子で野菜づくりを体験し、農業のたいせつさを学ぶ

食えること、そして農業のたいせつさを知ってもらいたい……。そんな思いから、JA北群渋川では平成十九年より小学三年生・四年生の子どもとその保護者を対象とした食農教育活動「あぐりキッズスクール」を開催しています。JA共済連群馬県本部ではその活動を支援し、JAと地域とのつながりが深まる絆づくりにひと役買っています。

「あぐりキッズスクール」の活動は、五月から十二月まで全五回。JA北群渋川女性部と青年部の協力のもと、野菜の栽培や観察発表、自分たちで育てた野菜の収穫体験や料理教室などが開催されています。

第三回目となったこの日の活動は、秋冬野菜の苗の植えつけ。キャベツとブロッコリーの苗が子どもたち全員に配られ、青年部のみなさんに教えてもらいながら、畑に設けられた一人ひとりの区画に丁寧に植えつけました。農作業のあとは、地元食材たっぷりのバーベキュー大会。炭火で香ばしく焼かれた野菜や豚肉のほか、スイカなども用意され、親子で楽しく味わいました。

## 参加者の声

息子といっしょに学んでいます



親子で協力する作業も楽しい

「親子で野菜を収穫できたら、楽しいだろうな」と思い、小学三年生の息子と参加することを決めました。あぐりキッズスクールの魅力のひとつは、新しい友だちと出会い、地域のつながりが広がること。食べものは、生きていくうえでの基本。息子とともに野菜を育てる体験を通じて、農業を身近に感じられるようになりました。

## 参加者の声

自宅での野菜観察も楽しい



受講三回目のリピーターです

現在小学六年生の姉が以前に参加し、よい経験ができたので、今回は、妹も参加することになりました。トマトなどの苗を自宅ですべて育てる経験も楽しいですね。花が咲いた、小さな実がついたなど、毎日、子どもといっしょに観察しています。これから開催予定の料理教室も楽しみ。子どもにも野菜をおいしく味わってほしいと思います。



JA共済の地域貢献活動はこちら

JA共済 ちいきのきずな 検索